

2021年度

デジタルトランスフォーメーション(DX) Challenge塾—実践編

【第2期 実践編】

期 間 第2期 2021年6月～2022年3月(原則として毎月1回 第1水曜日 全11回)
定 員 限定20社 (リモート開催のため、各社様の参加人数の制限はございません。
社内研修・教育にご活用下さいませ)

対 象 大企業・中小・ベンチャー、海外の“若手から中堅・中高年のメンバー”
～仕事の分野、役職、立場を問わず、DXに興味あるビジネスパーソンを
主たる対象とする。とりわけ、DX・AIの知識がゼロでも、新しい世界にチャ
レンジしたい意欲ある方を大歓迎！大切なのは、好奇心と向上心です！

開催形式 オンライン(ZOOM) **年会費** 1社 200,000円

【コーディネータ】

森 英悟 (株式会社Sigfoss代表取締役社長 工学博士)

兼安 暁 (DXT コンサルティング株式会社 代表取締役)

内野 崇 (学習院大学名誉教授)

吉田 直可 (法律事務所愛宕山所属弁護士/明治大学自動運転社会総合研究所客員研究員)

一般社団法人 経営研究所

【改めてDX Challenge塾の狙い】

- ① これからの企業の存続・成長を考える上で業種の如何を問わず、DX(デジタルトランスフォーメーション)に対する深い理解と取り組みは、まさに必須のアイテムといえます。外部のAIまたはSI企業に丸投げしていいのでしょうか！！ DX(その核心は、ビッグデータとAIである)の、リテラシーの継続的な向上と学習の場の提供を通じて、DXを活用したビジネスモデルの構築と、併せてそうしたダイナミックな変化に対応できる“デジタル人材の組織だった育成の場”、社内研修講座の受け皿として極めてリーズナブルな会費にて、ご活用いただくことをめざします。
- ② 前回の基礎編では、森先生&吉田弁護士&内野によってDXの意味とそのコアたるAI(ビッグデータとディープ・ラーニング)の基本、主たる領域、基本的な法的課題について、理解を深めました。今回の実践編では、今までの森、吉田、内野に加え、DXの理論と実践に精通する著名なナビゲーターである兼安暁氏にも加わっていただき、実際にDXに取り組んでいる企業の皆様にご登壇いただきます。改めてDXの総括とポイントの整理を交えながら、臨場感に溢れた当事者の経験知と実践知の共有を目指したいと考えます。実践編ながら、DXの基本知識なしでも十分に理解可能なセミナーでございます。初心者の方、大歓迎でございます。

- ③ 5Gの時代に入り、グローバルなサイバー空間の広がり、スピード感に溢れたソリューション志向の戦略の展開をコアとするDXの時代を迎え、個人にあっては、新しいキャリア形成とキャリア・アップの糧に、そして新たな企業成長をめざし、DXを活用したビジネスモデルの構築の礎になればと存じます。多数の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

【 2021年度 DX Challenge塾—第2期 実践編 プログラム】

(原則として毎月 第1水曜日 全11回 18:30~20:00)

第1回	6月2日(水)	「特別講演Ⅰ DXの進展とこれからの企業成長・そしてこれからの企業経営の課題」 兼安 暁氏(DXTコンサルティング株式会社 代表取締役)
第2回	6月8日(火) (合同セミナー) *曜日変更	「建設業の革新を支えるIoTプラットフォーム・ビジネス、ランドログの全容」 井川 甲作氏(株式会社ランドログ 代表取締役社長)
第3回	7月7日(水)	「特別講演Ⅱ 七転八倒にして抱腹絶倒のわが人生の歩みを語る！ ～DXの申し子たるわが人生そして現在のわが“Sigfoss”が目指すもの」 森 英悟(株式会社Sigfoss代表取締役社長 工学博士)
第4回	8月4日(水)	「事例に見るアリババのデジタルトランスフォーメーション」 小滝 浩哉氏(アリババ株式会社 社長室 新規事業開発担当部長)
第5回	9月1日(水)	「トヨタKINTOのチャレンジ」 本條 聡氏(株式会社KINTO 副社長執行役員 CSO)
第6回	10月6日(水)	「楽天の挑戦！—ドローンと自動走行ロボットによる物流イノベーション」 向井 秀明氏(楽天株式会社 コマースカンパニー ドローン・UGV事業部 ジェネラルマネージャー)
第7回	11月4日(木) *曜日変更	「ブロックチェーン技術の進展と分散型のファイナンス、そしてその中から 見えてくる未来と社会」 斉藤 賢爾氏(早稲田大学大学院経営管理研究科 教授)
第8回	12月1日(水)	「ITを駆使した付加価値技術の革新」 木村 寿利氏(株式会社木村鋳造所 代表取締役)
第9回	1月14日(金) *曜日変更	「特別講演Ⅲ DXに纏わる法的問題—情報の活用・利用の促進とプライバシー保護をめぐって—実践的な示唆」 吉田 直可(法律事務所愛宕山所属弁護士 明治大学自動運転社会総合研究所客員研究員) ※日程調整中
第10回	2月2日(水)	「シェアリングエコノミーの衝撃」 重松 大輔氏(株式会社スペースマーケット 代表取締役 一般社団法人シェアリングエコノミー協会 代表理事) ※日程調整中
第11回	3月2日(水)	全体総括～シンポジウム コーディネータ4氏—森・内野・吉田・兼安の4氏による

(テーマは仮題となります)

【コーディネータ 紹介】

森 英悟

北海道大学大学院博士後期課程単位取得退学 工学博士/ 株式会社 Sigfoss 代表取締役
<プロフィール>

1968年生まれ。自然言語処理に関する研究で学位取得。日本IBM、NOKIA(フィンランド)、東証第一部企業の代表取締役社長を経て、2014年にSigfossを創立。高精度画像認証システム、クラウド型企業向けシステム、ソーシャルゲーム、ファイナンシャルデータなどのビッグデータ解析、自己組織型学習システムの自然言語処理、画像処理への応用など最先端の技術を導入したシステム開発を手がける。近年は大手企業を中心に、ディープラーニング技術により人事やマーケティングデータ、動画画像の解析を行い、ビジネス面で大きな成果をあげている。我が国にあって、今注目のDXデザイナー兼エンジニアである。

兼安 暁

DXTコンサルティング株式会社 代表取締役
<プロフィール>

米国系コンサルティングファーム、ベンチャー企業、一部上場企業を経て、フリーのコンサルタントとして独立。日本で最初に基幹システムをLinux上で導入。Tポイントの立ち上げに、リードアーキテクト兼システム総責任者として貢献。小売流通、貿易、物流、製造、エネルギー、コミュニケーション、造船、金融、不動産、IT、製薬、農林水産業、旅行業、メディア、通信、EC、航空宇宙など、あらゆる産業を経験。2016年より、Fintech、Retechを中心に起業支援。米国、東南アジアで事業を自ら立ち上げ中のものも含め、これまでに200以上のDX案件に携わる。

内野 崇

東京大学大学院経済学研究科博士課程を経て、現在、学習院大学名誉教授。国内企業を中心に数多くのコンサルティング、研修・教育に従事。日本生産性本部経営アカデミー・トップマネジメントコース他のコーディネータ。学校法人学習院企画部長として学校改革に携わる。株式会社関電工取締役。著書に『新版 変革のマネジメント』(生産性出版)、『企業文化・業績と強い関係』(共著論文、日本経済新聞)、『組織の経時的分析』(経済論集)、『戦略論と組織論の融合をめざして』(経済研究)『戦略型経営』(共訳、ダイヤモンド社)ほか多数。

吉田 直可

法律事務所愛宕山所属弁護士/明治大学自動運転社会総合研究所客員研究員(自動運転 AI、医療 AI 研究)

<プロフィール>

1981年生まれ。2008年に弁護士として登録(東京弁護士会)、2012年に法律事務所愛宕山を開設。2018年4月に明治大学の自動運転社会総合研究所にて客員研究員に就任。社会実装部会部会長、医療AI部門部会長として、自動運転分野や医療分野におけるAI活用のリスク管理を専門とする研究を行う。その他、明星大学情報学部、サイバー大学IT総合学部において非常勤講師として教壇に立つ他、経済産業省・国土交通省委託事業「自動走行の民事上の責任及び社会受容性に関する研究」に関する協力委員も担当していたほか、自動車技術会のHMI委員会委員、特定非営利法人人間中心設計推進機構自動運転社会におけるHAII検討委員会委員を務めるなどしている。

【アシスタント】篠崎 亜季 株式会社Sigfoss マネージャー

【経営研究所とは】

経営研究所は昭和21年に故高宮晋先生(東大、一橋大、上智大名誉教授)によって学者と企業が共同で近代経営のあり方を研究すべく設立された会員制の非営利団体です。当時は他に類似の機関がなかったために、「経営研究所」がそのまま固有名詞となり、今日に至っております。

1996年より故土屋守章(東京大学名誉教授)が、さらに2010年6月より寺本義也(前早稲田大学大学院教授)が引き継ぎ、2013年9月まで丸の内地区を拠点に経営学及び関連学問の研究関心等、大学と企業の実務的課題を結びつける役割をはたしてまいりました。

創立以来70有余年、着実に発展の地歩を固め今日に至るわけではありますが、2013年10月をもって改めて21世紀にふさわしい研究所としての基盤整備に着手し、「一般社団法人経営研究所」として再スタート致しました。『知と実践の交流の場として、また智の発信基地』としての役割を担うなかで得た成果を、広く企業の実務において活かしていただくとともに、産業界及び学会の発展に資することを狙いとしています。

* 詳細は、当研究所のホームページ (URL: keieikenkyusho@keieik.or.jp) をご覧くださいませ。

【参加申込方法】

年会費 各社様 200,000 円 ※経営研究所維持会員は 10%割引、分納可。
申込方法 下記の所定申込書に必要事項をご記入の上、メールもしくは FAX でご送付下さい。
 参加は会社単位にて、各社の担当様よりお申込みくださいませ。
 参加申込書をいただきましたら、改めてご担当者様にご連絡を申し上げます。

連絡先 一般社団法人 経営研究所 事務局
 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビルB1F
 TEL:03-5220-2881 / FAX:03-3217-0208
 E-mail: keieikenkyusho@keieik.or.jp / URL: <http://www.keieik.or.jp>

会場案内図



【三菱ビルへの行き方】

- JR
 「東京駅」(丸の内南口).....徒歩約3分
 京葉線「東京駅」10番出口より直結
- 地下鉄
 千代田線「二重橋前駅」4番出口.....徒歩約2分
 丸ノ内線「東京駅」地下道経由.....徒歩約3分
 都営三田線「大手町駅」D1出口.....徒歩約4分
 東西線「大手町駅」B1出口.....徒歩約6分

第2期 (2021年度) DX Challenge塾 参加申込書

年 月 日

会社名	
所在地 〒	
連絡担当者	TEL E-mail
所属部署および役職名	
請求書送付先 (連絡ご担当者様と異なる場合はご記入下さい)	
氏名 所属部署及び役職名 TEL	E-mail